

東北大学大学院教育学研究科 教育ネットワークセンター 公開講演会

“第3回東日本大震災後の子ども支援”

災害を経験した子どもたち

～北海道南西沖地震から20年を迎える奥尻島を例に～

講師 定池 祐季 氏

(北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 助教)

1993年7月12日、マグニチュード7.8、最大震度6(推定)の北海道南西沖地震が起きました。地震発生から2～3分後、津波の第1波が奥尻島を来襲し、場所によっては30m規模の高さとなって、集落に壊滅的な被害をもたらしました。

その時から、今年で20年がたちます。まだ、こころのケアがかたちになっていなかった時代に、この地震と津波を体験した子どもたちはどのように大人になっていったのでしょうか。周囲の大人たちはどのように子どもたちの成長を支えたのでしょうか。災害研究者であり、震災当時は奥尻島に暮らす中学生でいらした定池祐季先生のご講話から、東北がこれから歩いていく道のりへの希望と示唆を見出していきたいと思えます。

日 時	2013年3月2日(土) 13:00～15:30
会 場	東北大学文科系総合研究棟 11階大会議室
参加者	子どもに関わっていらっしゃる方
参加費	無 料
定 員	100名(定員になり次第締め切り)
申込方法	電話かFAXでお申し込みください。



- ・問合せ先：東北大学大学院教育学研究科
教育ネットワークセンター
震災子ども支援室 “S-チル”
Tel&Fax 022-795-3263
E-mail : s.children@sed.tohoku.ac.jp

参加申込書

F A X : 022-795-3263

フリガナ		
お名前		男・女
フリガナ		
お名前		男・女
ご住所	〒	
TEL/FAX	TEL	
	FAX	
備考		

